

第3次奈良市食育推進計画行政事業と施策の目標一覧

	事業名	担当課名	施策の目標 ※食育推進計画10ページを参照				
			①	②	③	④	⑤
1	食育に関する講座	子ども育成課	○	○	○		
2	各種健康づくり教室	健康増進課 母子保健課	○	○	○		
3	乳幼児健康診査時栄養指導	母子保健課	○	○	○		
4	公立園での食育推進計画に基づく食育推進	保育総務課	○		○	○	○
5	こども園・保育所給食を通じた食育	保育総務課	○	○	○	○	○
6	幼稚園・こども園・保育所職員研修	保育総務課	○	○	○	○	○
7	菜園活動体験保育・クッキング保育	保育総務課	○		○	○	○
8	市立学校における食育の推進	学校教育課	○	○	○	○	○
9	市立小中学校における指導体制の充実	学校教育課	○	○	○	○	○
10	学校給食での「古都ならの日」「食育の日」の取組	保健給食課	○		○	○	○
11	地元食材を使用した学校給食の実施	保健給食課			○	○	○
12	PTAや保護者会と連携した研修会や懇談会	学校教育課	○	○	○	○	○
13	食の安全に関する情報発信	保健衛生課	○				
14	食育の日、食育月間の普及啓発	農政課	○	○	○	○	○
15	特定給食施設指導	保健衛生課	○	○	○	○	○
16	奈良市糖尿病性腎症重症化予防プログラム	医療政策課	○				
17	糖尿病相談窓口の設置	健康増進課	○	○			
18	高齢者の食支援・介護予防事業	福祉政策課	○	○			
19	高齢者の配食サービス事業	長寿福祉課	○	○			
20	各種食育イベントの開催	農政課	○	○	○	○	○
21	食育グッズの貸出	農政課	○	○	○	○	○
22	食育推進のための進捗管理・体制づくり	農政課	○	○	○	○	○
23	地域おこし協力隊	東部出張所	○	○	○	○	○
24	アクティブシニア農業体験事業「プチ田舎ぐらし」	農政課	○	○		○	○
25	出張メルカート	農政課					○
26	大和茶授業	農政課			○	○	○
27	食品ロスに関する取り組み(新)	廃棄物対策課					○

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	各種食育に関する講座			担当課名	子ども育成課	
				事業の開始年度	平成5	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進 ○	②多様な暮らしに対応した食育の推進 ○	③若い世代を中心とした食育の推進 ○	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	朝食を毎日食べる子どもの割合 92.4% (H28小5) →増加					
事業目的	3歳までの子を持つ利用者の食育への関心を高め、朝食を毎日食べる子どもの割合の増加を図る。					
事業概要	地域子育て支援センター、つどいの広場、子育てスポットすくすく広場、児童館の子育て広場、子育てスポットにおいて食育に関する講座を実施します。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
各施設等において、利用者のニーズに応じ講座を開催する。		子育て支援拠点20カ所のうち9カ所で食育関連の講座を実施。 開催数：54回 参加組数(親子)：約260組				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
135,042 千円		135,042 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
今年度から「食育推進に関する講座や講習会」の取り組みを勧めたことで、意識的に『離乳食講座』『栄養相談』という形での講習会を実施している拠点が増えた。次年度は、未実施の拠点に呼びかける。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	各種健康づくり教室			担当課名	健康増進課	
				事業の開始年度	平成4	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進 ○	②多様な暮らしに対応した食育の推進 ○	③若い世代を中心とした食育の推進 ○	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	朝食を毎日食べる子どもの割合 小5：83.3% (H30)→90%以上 中2：89.5%→90%以上 朝食をほぼ毎日食べる人の割合 86.9%(H30)→90%以上 主食・主菜・副菜を1日2回以上とる人の割合 42.4%(H30)→60%以上 1日に野菜料理を5皿以上(350g)食べる人の割合 6.9%(H30)→10%以上					
事業目的	市民が健康づくり教室に参加することで、自身の身体状況や生活習慣を意識的に振り返る機会とする。また、適切な食生活を身に付け実践することで、自身の健康づくりと、その家族や周囲の健康増進を図ることを目的とする。					
事業概要	①「25日は学ぼう！にこにこ奈良ごはん」(平成26年度から開始) 毎月25日(開庁日)に生活習慣病予防に関するテーマを設け講座を実施。食生活の振り返りと実践の方法を学ぶ。 ②「地域健康教育 健康ナビ★出前講座」(平成23年度から開始) 市民グループ・小中学校・事業所等から依頼を受け、職員が依頼元へ出向き、生活習慣病予防に関する健康講座を実施。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
①「25日は学ぼう！にこにこ奈良ごはん」開催回数、参加者数 ②「地域健康教育 健康ナビ★出前講座」のうち、食の内容を含む講座の実施回数、参加者数		(令和2年1月10日現在) ① 1) 毎月の講座 ・当日参加制4回、のべ778人 ・事前申込制2回、のべ63人 2) イベントによる講座 1回、計236人 ②8回、計192人				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
80 千円		80 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
①にこにこ奈良ごはんは、毎月25日(土、日、祝日、年末年始を除く)に実施した。実施時期に合った話題や市の健康課題に合わせた食や栄養に関する講話内容により、参加者が関心を持ち、参加者自身やその家族・周囲の人が健康づくりのための行動変容を促す機会となった。また、健康増進課主催イベントにおける講座では、ターゲット層となる子育て世代の参加者があった。 ②小学校からの依頼が増加している。(H29 1件→H30 1件→R1 4件)保護者が子どもとともに保護者自身の生活習慣を見直し、健康づくりのための行動変容を促すことができた。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	各種健康づくり教室			担当課名	母子保健課・都祁保健センター		
				事業の開始年度	年度		
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進		
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	○	○	○				
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	朝食を毎日食べる子どもの割合 小5：83.3% (H30)→90以上 中2：89.5%→90%以上 朝食をほぼ毎日食べる人の割合 86.9%(H30)→90%以上 主食・主菜・副菜を1日2回以上とる人の割合 42.4%(H30)→60%以上 1日に野菜料理を5皿以上(350g)食べる人の割合 6.9%(H30)→10%以上						
事業目的	①5か月児離乳食教室(ばくばく教室)について：保護者が5か月児の発達や離乳食について理解することで、乳汁栄養から幼児食へのスムーズな移行を目指す。 ②母親教室(はじめてのママパパサロン)について：参加者が妊娠期に必要な食事量や栄養素などの正しい知識を得ることができる。 ③育児教室(すこやかキッズ1.2.3)〈都祁〉について：親が子の年齢に応じた子育てについて学び、自身の子育て観を育み、育児力を高めあうことを目指す。						
事業概要	妊婦や乳幼児を対象に健康教室を実施し、管理栄養士が栄養・食生活に関する知識と情報を提供する。また市民からの栄養相談にも随時応じる。						
令和元年度			令和2年度				
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績	
①について：月2回 定員32組/回 ②について：教室自体は1クール2回コース。その内、食事の講話は月1回。定員24人/回 ③について：1歳児・2歳児・3歳児とその保護者が対象。食事についてのテーマは1歳児2回/年と3歳児1回/年。各回定員10組。		①614組予定(12月までの参加組数+平均参加組数×教室残数より算出) ②208組予定(12月までの参加者数+平均参加者数×教室残数より算出) ③年3回実施。計17組参加					
予算額		決算見込額		予算額		決算額	
674 ※ 千円		674 千円		千円		千円	
事業の成果(見込み)			事業の成果				
①第1子を対象としており、基本的な離乳食の作り方や与え方を伝えている。父や祖父母の参加もあり離乳食のフードモデルなども展示し、固さや量を母と確認してもらうことで実践に繋げている。 ②初妊婦に向けて、目安となる食事量やバランスの良い食事のとり方を伝えている。食生活に関するアンケート結果からは、副菜や果物が目安より少なかったり、朝食でバランスの良い食事を食べることに困難さを感じている人が多い傾向であった。来年度以降、朝食や野菜摂取を促す更なる啓発が必要と考える。 ③地域のボランティアと協働し、幼児食の講義、手作りおやつを試食、食育クイズを実施。目標の食についての心配が軽減される(1歳)こども自身が食への興味や関心を持つことができる(3歳)はアンケートから概ね達成できた。			脚注 ※ 妊産婦・乳幼児を対象とした親子健康教室(歯科や栄養に関する事業を含む)の総予算				
今後の方針	継続		廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	乳幼児健康診査時栄養指導			担当課名	母子保健課	
				事業の開始年度	平成4	年度※1
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○	○			
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	朝食を毎日食べる子どもの割合 小5：83.3% (H30)→90以上 中2：89.5%→90%以上					
事業目的	成長過程で生じる食に関する問題や個々の不安に寄り添い、不安の解消や望ましい食習慣の確立を支援するための栄養指導を実施する。発達時期に合わせた栄養・食生活情報を提供する。					
事業概要	生活習慣や食行動の個別性を発達と合わせて具体的な方法が指導できるよう個別栄養相談（4か月児健診、10か月児健診、1歳7か月児健診、3歳6か月児健診）を行っている。また、それぞれの発達時期に合わせた栄養・食生活についての情報提供として、健診対象者・受診者への資料配付と小集団栄養指導（1歳7か月児健診）を実施している。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
実施予定回数 4か月児健診：随時 10か月児健診：随時 1歳7か月児健診：45回/年 3歳6か月児健診：45回/年		4か月児健診：随時 10か月児健診：随時 1歳7か月児健診：45回/年 3歳6か月児健診：45回/年				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
※2 4か月児健診：10,992 10か月児健診：12,007 1歳7か月児健診：6,479 3歳6か月児健診：6,491 千円		※2 4か月児健診：10,992 10か月児健診：12,007 1歳7か月児健診：6,479 3歳6か月児健診：6,491 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
<ul style="list-style-type: none"> 各健診にて個別相談を実施し、個々に合わせた食支援を行った。 幼児期の食事に関する啓発物や媒体の見直しを行い、支援に活用している。 			脚注 ※1 管理栄養士の雇用開始年度 ※2 健診ごとの予算を提示。栄養指導のみの予算ではない			
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	公立園での食育推進計画に基づく食育推進			担当課名	保育総務課	
				事業の開始年度	平成20	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○		○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	朝食を毎日食べる子どもの割合 小5 : 83.3% (H30)→90以上 中2 : 89.5%→90%以上 料理や食事の手伝いをする子どもの割合 89.1% (H30小5) →増加					
事業目的	食育指導の目標を設定し、保育所、認定こども園及び幼稚園における食育の推進を図る。					
事業概要	「奈良市立こども園カリキュラム」に基づき指導計画を作成し、園全体で計画を共有し、実施・評価を行う。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
指導計画の作成・実施・評価を、認定こども園・幼稚園・保育所全園において行う。		指導計画の作成・実施・評価を、公立園全園（認定こども園18園・幼稚園16園・保育所8園）において行った。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
(各園の予算内で執行) 千円		(各園の予算内で執行) 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
各園の特徴や状況を踏まえた計画を作成することができた。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	こども園・保育所給食を通じた食育			担当課名	保育総務課	
				事業の開始年度	平成20	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○	○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	朝食を毎日食べる子どもの割合 小5：83.3% (H30)→90以上 中2：89.5%→90%以上 食文化や郷土料理・伝統食への関心がある人の割合 56.0% (H30)→70%以上					
事業目的	各園で作成する食に関する指導計画に基づき、望ましい食習慣を身につける保育・食育を展開する。 バランスのとれた食事や日本の伝統的食文化についての啓発を行う。					
事業概要	日本型食生活を基本とし、米飯給食を通じて栄養バランスのとれた給食を提供する。季節に合わせた献立や行事食・郷土料理を提供する。 保護者に配布する献立表や食育だより等で保護者のニーズに応じた正しい情報を提供する。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
①給食献立表を毎月配付 ②食育だよりを年間4回発行 ③食に関する指導計画の作成、保育・食育への展開 ④給食の提供 ⑤季節に合わせた献立や行事食・郷土料理の提供		①平成31年4月～令和2年3月まで、毎月献立表を作成し、園を通じて配付。 ②令和2年3月発行予定を含めて年間4回、延べ約15,000部の発行。 ③公立園全国で指導計画を作成。クッキング保育は延べ61件実施。(令和2年1月現在) ④保育実施日に全日給食を提供(行事等は除く) ※提供日数289日、1回提供約3,000食 ⑤行事食・郷土料理：旬の食材や季節に応じた調理方法による献立を作成し毎月提供。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
0 千円		0 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
献立表や食育だよりを通じて保護者に食の情報を届けることができた。 家庭においてあまり食卓に並ばない食材や料理も提供することで、園児にとって良い食の経験となった。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	幼稚園・こども園・保育所職員研修			担当課名	保育総務課	
				事業の開始年度	平成20	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○	○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	朝食を毎日食べる子どもの割合 小5 : 83.3% (H30)→90以上 中2 : 89.5%→90%以上					
事業目的	職員を対象にした研修を実施し、必要な知識や情報を習得するとともに各園の取組について情報共有を行い、各園での実施内容の充実を図る。					
事業概要	職員が集まる会議の機会に、毎日の園生活の中で必要とされる食に関する知識を共有する。(食物アレルギー、衛生管理等)					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
調理員会議・園長会・副園長会開催時に情報共有、研修を行う。		年4回実施の調理員会議を中心に、衛生管理やアレルギー等についての情報を随時共有。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
0 千円		0 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
日頃から特に園児の食に深くかかわる調理員の意識を向上させることにより、園全体の意識の向上につなげた。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	菜園活動体験保育・クッキング保育			担当課名	保育総務課	
				事業の開始年度	平成20	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○		○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	料理や手伝いをする子どもの割合 89.1%(H25小5)→90%以上					
事業目的	園庭などで栽培収穫した野菜やいも等の食材を使い、園児が調理する楽しさや食物に感謝しながら食べる喜びを味わう保育を行う。					
事業概要	各園で年齢別に作成した食育計画に基づき、旬の食材を調理したり、給食に取り入れるなどの活動を行う。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
クッキング保育の実施		令和2年1月現在、61件のクッキング保育実施報告有り。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
(各園の予算内で執行) 千円		(各園の予算内で執行) 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
各園で、園児自らクッキングを行うことで、食物に感謝する心を育むことができた。自分たちの手で育てたものを喫食することで、苦手なものであっても食べることができた。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	市立学校における食育の推進			担当課名	学校教育課	
				事業の開始年度	平成28	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸 になる食育の推進	②多様な暮らしに 対応した食育の推進	③若い世代を中心 とした食育の推進	④食文化の継承に向 けた食育の推進	⑤食の循環や環境を 意識した食育の推進	
	○	○	○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	朝食を毎日食べる子どもの割合 小5 : 83.3% (H30)→90以上 中2 : 89.5%→90%以上 料理や食事の手伝いをする子どもの割合 89.1% (H30小5) →増					
事業目的	学校の教育活動全体を通して、児童生徒の発達段階に応じた食育指導を行う。					
事業概要	特別活動や各教科等における食に関する指導や栄養教諭・学校栄養職員による専門性を生かした取組等を通して、食への理解を深める。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
各学校において、食に関する指導の全体計画を作成する。		学校ごとに食に関する指導の全体計画を立て、各学年ごとに実施した。				
年間を通して、児童生徒の発達段階に応じた食育指導を行う。		学校ごとに児童生徒の発達段階に応じた食育指導を実施した。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
0 千円		0 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
学校の特色を活かし、教科等と関連付けた食育の取組を進めることができた。 学校給食を基盤とし、子どもたちの健やかな心身の育成を図るために、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることと、食を通じて奈良の良さを知り、自分の生まれ育った地域への誇りを持つことを目的とし、食育プログラムを進めることができた。 外部講師を招いたり、現地学習を行ったりすることで、学習の幅が広がった。(大和茶研究センター、野外活動等) 学校の教育活動において食育をさらに定着させるために、食に関する指導の全体計画を校内で共有するとともに、研究授業や実践発表等を通して多くの教員が意識する必要がある。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	市立小中学校における指導体制の充実			担当課名	学校教育課	
				事業の開始年度	平成28年度	
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○	○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	朝食を毎日食べる子どもの割合 小5：83.3% (H30)→90以上 中2：89.5%→90%以上 料理や食事の手伝いをする子どもの割合 89.1% (H30小5) →増加 食文化や郷土料理・伝統食への関心がある人の割合 56.0%(H30)→70%以上					
事業目的	各学校での食育における指導体制の充実を図る。					
事業概要	公立小中学校の食育担当で組織する奈良市教育協議会 食育推進部会において、公開授業や実践発表会、実践事例集の作成等を行う。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
栄養教諭や学校栄養職員と教員とのチームティーチングによる授業を行い、食の視点を取り入れながら、教科等のねらいにせまる公開授業を行う(小中学校併せて3本)。 実践発表会や、実践事例集の作成等を行う。		奈良市教育協議会(食育推進部会)において、食の視点を取り入れた公開授業を行い、教科等のねらいにせまることができた。(小中学校併せて2本) 実践発表会や、実践事例集等を作成し、各学校での取組を共有した。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
0 千円		0 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
次の2本の研究授業を行い、事前指導及び研究協議を行った。いずれも教科等のねらいにせまる食の視点を取り入れた授業展開であった。 ・小学校6年生「生活習慣病の予防①」保健科 養護教諭とのチームティーチング 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自らの生活習慣を管理していく能力を身につける。 ・中学校1年生 地理「世界各地の人々の生活と環境」 情報機器を活用し、班で協働しながら世界各国の伝統料理を調べ、そこからその地域の生活環境等の特色を理解する。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	学校給食での「古都ならの日」 「食育の日」の取組			担当課名	保健給食課	
				事業の 開始年度	平成30	年度
第3次奈良市 食育推進計画 上の位置づけ	①健康寿命の延伸 になる食育の推 進	②多様な暮らしに 対応した食育の推 進	③若い世代を中心 とした食育の推進	④食文化の継承に向 けた食育の推進	⑤食の循環や環境を 意識した食育の推進	
	○		○	○	○	
第3次奈良市 食育推進計画 上の評価指標	学校給食 1食あたりの野菜の使用量 小学校：77.2g→85g以上 中学校：104.3g→115g以上 学校給食 1食あたりの食塩相当量 小学校：2.5g→2g以下／中学校3.3g→2.5g以下					
事業目的	「古都ならの日」「食育の日」を通じ、日本型食生活の普及を図るとともに、児童生徒の食や郷土への関心を深めることを目的とする。					
事業概要	「古都ならの日」には奈良市産白米を主食とし、郷土料理や地場産物を積極的に取り入れた献立を実施する。「食育の日」は毎年テーマを変え、給食を通じて啓発を行う。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
毎月、「古都ならの日」「食育の日」を実施し、献立内容に合わせた啓発資料を作成する。また、「食育の日」については「野菜を食べよう」をテーマとし、一食あたり小学校85g以上、中学校115g以上の野菜を使用した給食を提供する。		毎月、「古都ならの日」「食育の日」を実施し、献立内容に合わせた啓発資料を配布した。「食育の日」については「野菜を食べよう」をテーマとし、一食あたり小学校85g以上、中学校115g以上の野菜を使用した給食を提供した。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
0 千円		0 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
「古都ならの日」には地場産物及び郷土料理の提供ができた。また、「食育の日」に「野菜を食べよう」をテーマとしたことで、野菜の使用量を平均10g程度増加させることができた。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	地元食材を使用した学校給食の実施			担当課名	保健給食課	
				事業の開始年度	平成30	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
			○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	学校給食1食あたりの野菜の使用量 小学校：77.2g→85g以上 中学校：104.3g→115g以上					
事業目的	新鮮な食材の確保と地域理解（自然、食文化、産業等）を深めるため。					
事業概要	学校給食における地場産の農産物の使用を推進する。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
現在まで使用実績のある食材に加え、新たに使用できる地元食材を取り入れることができるよう、JAならけんと定期的な会議を行う。		昨年度まで使用実績のなかった大和丸ナス、県産ももたろうトマト、市産プロッコリー、県産小麦粉の使用ができた。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
0 千円		0 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
現在まで使用実績のある食材に加え、新たに4種類の地元産食材を取り入れることができた。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	PTAや保護者会と連携した研修会、懇談会の実施			担当課名	学校教育課	
				事業の開始年度	平成28年度	
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○	○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	食育に関心をもつ人の割合 75.9%(H30)→90%以上					
事業目的	家庭と協力し食育指導を進める。					
事業概要	家庭と協力し食育指導を進めるために、PTAや保護者会と連携して研修会や授業参観、懇談会や給食試食会を開催する。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
各校において、保護者を対象とした給食試食会を実施する。		保護者を対象とした給食試食会を実施した。保護者が給食の様子を参観した。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
0 千円		0 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
栄養教諭等の話を通して、PTAや保護者による学校給食への理解や食への関心が高まった。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	食の安全に関する情報発信			担当課名	保健衛生課	
				事業の開始年度	平成14	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○					
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合 63.3%(H30)→増加					
事業目的	市民及び食品関連事業者の食の安全に関する知識と理解を深める。					
事業概要	まちかどトークや講習会、リスクコミュニケーション等により、市民や食品関連事業者へ食の安全に関する情報の提供や意見の交換を行う。また、広報活動（しみんだより、ホームページ等）や若い世代へ食肉の生食による食中毒予防の啓発を行う。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
①リスクコミュニケーションを1回開催 ②市内小・中・高校、大学へ食肉の生食による食中毒予防の啓発のチラシ又はポスターを配布 時期：7月又は8月		①リスクコミュニケーションを令和2年2月16日に実施予定。 ②市内小・中・高校、大学へ食肉の生食による食中毒予防の啓発のチラシ又はポスターを配布を実施した。 時期：7月から8月の期間				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
5 千円		5 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
①「健康食品」をテーマにリスクコミュニケーションを令和2年2月16日に実施予定である。 ②市内の小・中・高校、大学には7月から8月の期間でチラシ、ポスターによる食中毒予防の啓発を実施した。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	食育の日・食育月間の普及啓発			担当課名	農政課	
				事業の開始年度	平成20	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○	○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	食育に関心をもつ人の割合 75.9%(H30)→90%以上					
事業目的	市民の食育に関心をもつ人の割合を増やす。					
事業概要	庁内関係課や食育ネット団体の協力により、毎月しみんだより・市ホームページに食育コラムを掲載する。市ホームページやSNS等で食育に関する情報を発信する。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
<ul style="list-style-type: none"> ・しみんだより食育コラム・ホームページ掲載/年間12回 ・農政課ツイッター・食育ネットフェイスブックを通じた情報発信/毎月1回以上 ・市庁舎での食育月間啓発 6月14日～19日 ・市立図書館(中央、西部、北部)での食の展示6月中 		<ul style="list-style-type: none"> ・しみんだより食育コラム・ホームページ掲載/年間12回 ・農政課ツイッター・食育ネットフェイスブックを通じた情報発信/平均月5回 ・市庁舎での食育月間啓発 6月14日～19日 ・市立図書館(中央、西部、北部)での食の展示6月中 				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
0 千円		0 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・紙面や図書館、SNSでの啓発を行うことで幅広い世代に向けた啓発ができた。 ・市や関係団体の取組を定期的に発信することでツイッターフォロワー数が60件以上増加し関心が高まっていることが伺われた。 						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針		廃止の場合、その理由

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	特定給食施設指導			担当課名	保健衛生課	
				事業の開始年度	平成14	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○	○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	主食・主菜・副菜を1日2回以上とる人の割合 42.4%(H30)→60%以上 1日に野菜料理を5皿以上(350g)食べる人の割合 6.9%(H30)→10%以上					
事業目的	健康増進法第24条に基づき、栄養指導員が特定給食施設に立ち入り、栄養管理業務の状況や帳簿、その他必要な事項について検査を行い必要な指導を行うことで特定給食施設の栄養管理の適切な実施を確保する。					
事業概要	健康増進法に基づく特定給食施設などの施設管理者及び給食関係者に対し栄養改善などの指導に努める。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
・栄養管理報告書による調査1回(6月) ・特定給食施設研修会1回(7月)		・栄養管理報告書による調査 143件 ・特定給食施設研修会 参加者数 98人				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
167 千円		167 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
栄養管理報告書により栄養管理業務の状況を確認し、必要な指導を行うことで特定給食施設の栄養管理の適切な実施を確保した。 特定給食施設研修会において、特定給食施設の管理者及び給食担当者が栄養管理や食品衛生に関する正しい知識を身につけることにより、食中毒を予防し施設利用者の栄養管理の充実を図った。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針		廃止の場合、その理由

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	奈良市糖尿病性腎症重症化予防プログラム			担当課名	医療政策課		
				事業の開始年度	28 年度		
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進 ○	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進		
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	—						
事業目的	糖尿病性腎症の重症化を予防し、人工透析への移行させないことで市民のQOLの維持、医療費適正化を図る。						
事業概要	レセプト、健診データからの候補者抽出や、かかりつけ医から推薦を受ける方法等で参加者を募集し、糖尿病性腎症重症化プログラムを開始する。プログラムの内容は、個別面談、電話等で参加者の状況に合わせて食事、運動、服薬等の自己管理の方法について、専門知識を有する専門職が6か月間継続的に健康指導する。						
令和元年度				令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績	
プログラム参加者数：50人 プログラム完了者の人工透析移行率：0%		プログラム参加者数：50人 プログラム完了者の人工透析移行率：0%					
予算額		決算見込額		予算額		決算額	
5,038 千円		5,038 千円		千円		千円	
事業の成果(見込み)				事業の成果			
糖尿病性腎症の重症化が懸念される対象者に対し、減塩を中心とした食事指導を含む生活習慣指導を行い、人工透析への移行を防ぐ取り組みを行った。							
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由		

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	糖尿病相談の窓口			担当課名	健康増進課	
				事業の開始年度	平成27	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進 ○	②多様な暮らしに対応した食育の推進 ○	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	朝食をほぼ毎日食べる人の割合 小5：83.3% (H30)→90%以上 中2：89.5%→90%以上 主食・主菜・副菜を1日2回以上とる人の割合 42.4% (H30)→60%以上 1日に野菜料理を5皿以上(350g)食べる人の割合 6.9% (H30)→10%以上					
事業目的	糖尿病に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。					
事業概要	奈良市民のうち、糖尿病のリスクが高いもしくは糖尿病と診断された方に対し、糖尿病の進行防止及び糖尿病が引き起こす動脈硬化等の合併症の防止等個人に適した健康管理方法に関する相談指導等を行う。相談後の1か月後・3か月後に電話連絡や面談を行い、受診や生活習慣の改善状況の確認を行う。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
毎週月曜日の午後1時からと午後2時半からの2回、1人60分枠で糖尿病相談窓口を設け、申込のあった者に対し、管理栄養士等が個別相談に応じる。		糖尿病相談 74回、のべ74人 (指導実人数 40人)				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
2299 千円		2299 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
食事記録や体重記録、料理カード、食品カードを用い利用者の食生活を振り返ることで、食事バランスや食事の偏り等気づき、生活改善に取り組む機会となった。また、継続支援を行うことにより、利用者の生活習慣改善に対するモチベーションを維持し食事面や運動面の改善が見られ、体重減少や検査値データの改善が認められる者もあった。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針		廃止の場合、その理由

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	高齢者の食支援・介護予防事業			担当課名	福祉政策課	
				事業の開始年度	平成22	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進 ○	②多様な暮らしに対応した食育の推進 ○	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	低栄養傾向 (BMI20以下) の高齢者の割合 男性16.2%(H30)→15% 女性27.0%(H30)→22% 主食・主菜・副菜を1日2回以上とる人の割合 42.4%(H30)→60%以上					
事業目的	高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと暮らし続けることができるよう、全ての高齢者を対象に介護予防に関する知識等を普及啓発することで介護予防活動への取り組みの推進を図り、高齢者が要介護状態等とならないための予防や要介護状態の軽減・悪化の防止を目指し、高齢者の健康寿命の延伸を図る。					
事業概要	地域住民・団体からの依頼をもとに、運動・口腔・栄養・認知症などのテーマ別に講師を派遣して、介護予防に関する知識の普及啓発を実施する。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
健康出前講座 栄養編 開催予定23回		健康出前講座 栄養編 開催予定 11回				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
400 千円		88 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
地域住民・団体からの依頼をもとに、栄養のテーマに関する出前講座を開催し、介護予防に関する知識の普及啓発を実施している。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	高齢者の配食サービス事業			担当課名	長寿福祉課	
				事業の開始年度	平成6年度	
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○				
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	低栄養傾向 (BMI20以下) の高齢者の割合 男性16.2%(H30)→15% 女性27.0%(H30)→22%					
事業目的	食事の調理が困難な高齢者に対して配食サービスを実施し、当該高齢者の自立と健康の増進を図る。					
事業概要	在宅で65歳以上の単身世帯などで調理等が困難で低栄養のおそれがある人を対象に高齢者向けの栄養バランスの取れた昼食または夕食の配食を実施。同時に安否確認を行い、異常が認められる場合は保健、医療及び福祉の関係機関等へ連絡を行う。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
<ul style="list-style-type: none"> 配食数 60,000 食 1食あたり平均熱量 (500kcal) たんぱく質量 (17~20g) 食塩 (2.5g) 		<ul style="list-style-type: none"> 配食数 60,000食 1食あたり平均熱量 (524.7kcal) たんぱく質量 (17.0g) 食塩 (2.5g) 				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
13,522 千円		13,522 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
今年度から夕食の配食サービスの委託も開始され、利用者の生活状況に応じて食事の選択できるように事業の見直しを行った。定期的に栄養バランスの取れた食事を届け、安否確認を行うことで利用者の自立と健康増進を促した。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	各種食育イベントの開催			担当課名	農政課	
				事業の 開始年度	平成20	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○	○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	食育に関心をもつ人の割合 75.9%(H30)→90%以上					
事業目的	市民の食育への関心を高め、実践を促すとともに地域で活動している人と市民をつなぐ。					
事業概要	市食育ネット参加団体が食に関する知識や体験を市民に提供する食育フェスタ開催支援、子どもの生きる力を育む「弁当の日なら」の実施協力、地域で活動される方を講師に招き市民に必要な情報を伝える食育セミナーの開催、その他食育を目的とする企画相談に応じる。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市食育フェスタ1回 来場者1000人以上/10月26日・27日 ・食育セミナー3回 10月26日 ・「弁当の日なら」講演会1回・調理実習2回支援10月26日 ・近鉄百貨店奈良店ベビーガーデンでの食育イベント支援 ・各種電話・窓口相談 		<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市食育フェスタ1回 延べ来場者1500人/10月26日・27日 ・食育セミナー3回 10月26日 ・「弁当の日なら」講演会1回・調理実習2回支援10月26日 ・近鉄百貨店奈良店ベビーガーデンでの食育イベント支援7件 ・各種電話・窓口相談 				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
79 千円		79 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・食育フェスタは今回初めて食育ネット主催で開催し、市内の商業施設で実施したことで普段関心のあまりない市民へも啓発ができた。 ・近鉄百貨店奈良店ベビーガーデンなど、地域に新しい食育の拠点ができている。 						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	食育グッズの貸出			担当課名	農政課	
				事業の開始年度	平成26年度	
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○	○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	食育に関心をもつ人の割合 75.9%(H30)→90%以上					
事業目的	市民や各団体の食育推進を支援し、市民運動としての食育の取組みを広げる。					
事業概要	料理カードや食育紙芝居、食材カード、塩分測定器、食品成分表等の食育グッズをホームページに掲載し、使用申込された方へ2週間をめぐり無料で貸し出す。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
食育グッズの貸出物品をホームページに掲載し、希望のあった方へ貸し出す。掲載の許可がとれた使用例について、ホームページに掲載する。		食育グッズの貸出物品をホームページに掲載し、希望のあった方へ貸し出す。掲載の許可がとれた使用例について、ホームページに掲載する。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
0 千円		0 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な団体へ物品が提供できた。 児童福祉施設や地域栄養士からのニーズが高い。 今後、新たなニーズに応じて可能な範囲で入れ替えていく必要がある。 						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	食育推進のための進捗管理・体制づくり			担当課名	農政課	
				事業の開始年度	平成18	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
	○	○	○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	食育に関心をもつ人の割合 75.9%(H30)→90%以上 食育の推進に関わるボランティアの数 2,276人(H30)→増加 奈良市食育ネット参加団体の数 60団体(H30)→増加					
事業目的	庁内及び関係団体等、多部署にわたる食育を総合的かつ効果的に推進していく。					
事業概要	・推進体制をつくり、PDCAサイクルに基づく評価を行い関係部局と共有しながら計画全体の進捗を確認し必要な支援を行う。 ・奈良市食育推進会議（今年度の取組について審議する） ・奈良市食育推進会議庁内連絡会（今年度の事業計画と実績の共有、その他随時必要な協議を行う）					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
・奈良市食育推進会議1回(2月頃)開催し今年度の取組を審議する。 ・奈良市食育推進会議庁内連絡会を1回(8月8日)開催し、今年度の計画を共有し必要な事項について協議する。年度末には取組を評価し共有する。		・奈良市食育推進会議1回(2月18日) ・奈良市食育推進会議庁内連絡会1回(8月8日)、年度末に実績を評価し共有する。 ・市食育ネット総会1回(6月22日)交流会1回(6月22日)幹事会2回(6月10日、11月28日)参加団体数:64団体				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
120 千円		110 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
・庁内で食育を総合的かつ効果的に推進していくための体制がとれている。 ・2019年10月1日に施行された食品ロス対策法についても情報共有ができた。 ・食育ネットの団体数は増加している。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	地域おこし協力隊			担当課名	東部出張所	
				事業の開始年度	平成26	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進 ○	②多様な暮らしに対応した食育の推進 ○	③若い世代を中心とした食育の推進 ○	④食文化の継承に向けた食育の推進 ○	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進 ○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	認定農者数：126人(H30) →140人					
事業目的	東部地域の豊かな自然をいかし、新規就農の促進や産直のおいしい農産物の販売・PRを通じた地域活性化のために取り組む。					
事業概要	東部地域に住み、地域の農業者の指導を仰ぎながら農作物や加工品を作る。市内中心部でのワークショップやPRイベントを実施し、東部地域の農作物を知ってもらうことから交流人口を増加させ、地域活性化を図る。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
(事業全体) ・安心安全な農作物栽培 ・鳥獣害対策 ・養蜂業 ・耕作放棄地対策(えごま栽培) ・都市農村交流 (食育関連事業) 東部マルシェの実施 日時：5月、11月に実施 場所：奈良町南観光案内所 来場者数目標：各回150名		①2019年10月26、27日 奈良市食育フェスタ参加 エゴマ油 ハチミツ 有機野菜 販売 1,500人来場 ②2019年5月18日、11月2日 東部マルシェ実施 エゴマ油 ハチミツ 販売 各回 約200名来場				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
11,833 千円		11,833 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
・耕作放棄地対策であるエゴマの栽培に関しては、先進地視察や経験値の蓄積により対前年度200%の収量を見込んでいる。 ・安心安全な農作物の販売に関しては、消費者のニーズを調査しながら少量多品種の栽培も検討していく。 ・都市農村交流は、東部地域での生活体験等とも組み合わせ引続き誘客を図っていく。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	アクティブシニア農業体験事業 「プチ田舎ぐらし」			担当課名	農政課	
				事業の 開始年度	平成26	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸 にながる食育の推 進 ○	②多様な暮らしに 対応した食育の推 進 ○	③若い世代を中心 とした食育の推 進	④食文化の継承に向 けた食育の推 進 ○	⑤食の循環や環境を 意識した食育の推 進 ○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	認定農者数：126人(H30) →140人					
事業目的	奈良市東部地域の5つの公民館において、地域の自然・風習・食・技などに触れ、田舎の暮らしを知り、また農作業などの体験をすることにより生きがいを感じ、農業の魅力を感じていただくことを目的とする。					
事業概要	公益財団法人奈良市生涯学習財団へ事業委託し、東部地域の公民館5館（田原・柳生・興東・月ヶ瀬・都祁）において各地域の食材や素材を使用した料理やものづくりを通して、「農のある暮らし」や「里山の暮らし」を学ぶ。講座は年に2回、春夏・秋冬に分けて参加者を募集する。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
東部地域の公民館5館（田原・柳生・興東・月ヶ瀬・都祁）において前期（4～9月）・後期（10月～3月）に分けて全23講座開催。		<ul style="list-style-type: none"> ・全23講座開催、延べ参加者数382人。前期参加者アンケートで「満足」「ほぼ満足」と回答したのは134人、100%。 ・6年間の事業報告書を作成し財団・公民館と共有した。 ・東部公民館まつり（3月25日～28日）で6年間の事業内容を掲示する予定。 				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
350 千円		350 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者から高い満足度を得た。前期参加者のうち、奈良市内東部以外からの参加者が86%（116名）と多く、事業を通じて東部の魅力が伝わっている。 ・参加者が生きがいや農業の魅力を感じるとともに、参加者と地域の人が交流するなど一定の成果を得た。 						
今後の方針	廃止	廃止の場合、その理由 新規の就農には結びつかなかった。 次年度からは市生涯学習財団の事業として継続していく。		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	出張メルカート			担当課名	農政課	
				事業の開始年度	平成29	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
					○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	—					
事業目的	市民の身近な場所で地元農作物を販売することにより生産者と消費者の交流を促し、地産地消を促進する。					
事業概要	農政課は生産者情報を掲載した「出張メルカート登録書」及び主催者が作成する「出張メルカート利用申請書」により得た情報をもとにマッチングを行い、条件が適合する場合にそれぞれを紹介する。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
今年度規約の改正を行い、農政課が出張販売可能な生産者団体を募集し市ホームページに掲載することでイベント主催者が生産者団体を探しやすい体制をつくる。		・実施4件 ・今年度規約の改正を行い、農政課が出張販売可能な生産者団体を募集し市ホームページに掲載することでイベント主催者が生産者団体を探しやすい体制とする予定。				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
0 千円		0 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)			事業の成果			
・今年度は新たな体制づくりの準備期間とした。 ・次年度以降、進捗を確認しながら事業を進めていく必要がある。						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	大和茶授業			担当課名	農政課	
				事業の開始年度	28	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸になる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	
			○	○	○	
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	—					
事業目的	奈良産のお茶「大和茶」を奈良が誇るブランドとして確立させ、地元奈良での認知度の向上を図る					
事業概要	市内の小学校・中学校において、日本茶インストラクターが講師となり、急須を使ったお茶の淹れ方を体験し温度による味の違いや味わい方を学ぶ授業を実施する。					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績		事業計画		事業実績
<ul style="list-style-type: none"> ・20校実施 ・評価方法 ①子どもたちを対象にアンケートを実施 ②実施校を対象にアンケート これら結果を日本茶インストラクター協会へフィードバックし内容の改善を行う。		<ul style="list-style-type: none"> ・11校実施 (内訳：小学校9、中学校2) 全12回 ・奈良市教育協議会食育推進部会で大和茶授業のデモンストレーションを実施、アンケート結果報告(1月28日) 				
予算額		決算額		予算額		決算額
301 千円		301 千円		千円		千円
事業の成果			事業の成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の約半分ぐらいの家庭にしか急須がない状況で、急須でお茶をいれる体験の機会を提供し、子どもたちにも学校にも喜んでいただけた。 ・アンケート結果を学校・講師と共有ができたことでよりよい授業の改善につながっている。 ・一部中学校から「わたしが飲んでみたい夢のお茶」の提案をいただいたので次年度のお茶イベントに活かす。 						
今後の方針	継続	廃止の場合、その理由		今後の方針	廃止の場合、その理由	

第3次奈良市食育推進計画実施計画シート

事業名	食品ロス削減に関する取り組み			担当課名	廃棄物対策課	
				事業の開始年度	令和元	年度
第3次奈良市食育推進計画上の位置づけ	①健康寿命の延伸につながる食育の推進	②多様な暮らしに対応した食育の推進	③若い世代を中心とした食育の推進	④食文化の継承に向けた食育の推進	⑤食の循環や環境を意識した食育の推進	○
第3次奈良市食育推進計画上の評価指標	—					
事業目的	食品ロス削減に関する情報発信を行うことによって、市内で発生する食品廃棄物の減量に努めるとともに、循環型社会の形成推進に寄与する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減の情報をHP、しみんだより、ごみ分別アプリや、自治会や小学校への出前講座等の機会を通じて発信する。 ・フードバンクと協働でならクリーンフェスタでフードドライブを実施。またフードバンク活動の情報提供を行う。 					
令和元年度			令和2年度			
事業計画		事業実績(見込み)		事業計画		事業実績
①ごみ減量キャラバンにて食品ロス削減の取り組みや情報を発信する。(年15回程度) ②小学校への出前講座で食品ロス削減の必要性を発信する。(年5校程度) ③フードドライブの開催(年1回) ④食品衛生研修会で食品ロスの啓発を実施(年1回)		①ごみ減量キャラバンにて食品ロス削減の取り組みや情報を発信する。(年21回) ②小学校への出前講座で食品ロス削減の必要性を発信する。(年5校) ③フードドライブの開催(年1回) ④食品衛生研修会で食品ロスの啓発を実施(年1回)				
予算額		決算見込額		予算額		決算額
80 千円		80 千円		千円		千円
事業の成果(見込み)				事業の成果		
市民に対しては、ごみ減量キャラバンや出前講座を実施し、食品ロス削減の情報を周知を行った。また、事業者に対しては、食品衛生協会の研修において、周知チラシを配布し、現状を確認するためのアンケート調査を行った。						
今後の方針		廃止の場合、その理由		今後の方針		廃止の場合、その理由
継続						